

# 市民の願いに応えた 垂水のまちづくりを



## 今井議員が一般質問

10月29日に神戸市会本会議がひらかれ、日本共産党議員団を代表して、今井まさこ議員が一般質問にたち、垂水区の駅前再開発などについて久元市長らの見解を求めました。

## 垂水体育館と勤労市民センター 体育室の移転・統廃合やめよ

神戸市は、施設の老朽化を理由に、コンセプトも利用対象者も違う垂水体育館と勤労市民センターの体育室を移転・統廃合しようとしています。

今井議員は、今回の統廃合によって、勤労市民センターを利用していた高齢者や障がい者が排除されるとして、計画の中止を求めました。

**答弁**  
**ダイジ**  
**エスト**  
今井議員：この計画について市民意見募集（パブリックコメント）がおこなわれ、379件もの意見が寄せられ、半数以上が反対の声、賛成でもアクセス面での不安の声が多数だったが読んだか。

寺崎副市長：意見は拝見したが、勤労市民センター存続を希望する意見は53件だったと認識している。利用しやす

いアクセスについても検討し、高齢者や障がい者の方々が排除されるようなことがないように取り組む。

今井議員：アクセスについての不安や不満の声は大半だった。利用者の声に耳を傾け、勤労市民センターが勤労者や高齢者の方々の健康を支援する場所であるよう配慮を求める。

## 子育て安心の神戸をつくるなら 早期に産科・小児救急を

神戸市は、垂水区の医療体制が不十分だとして、元垂水養護学校跡地と垂水体育館の移転跡に、産科と小児救急医療体制を持つ総合病院を誘致すると発表しました。これは垂水区民が一貫して求めてき

たことの反映です。今井議員は、「垂水体育館を移転させ、その跡地につくるのでは、病院の建設は7年から8年近くもかかり、あまりにも遅すぎる。子どもがケガや、入院しなければならないとき、身近

なところに病院が欲しいという子育て世代の願いに早期に

応えるべきだ」と質しました。

**答弁**  
**ダイジ**  
**エスト**  
寺崎副市長：昨年掖済会病院小児科閉鎖にともない、須磨区の神戸医療センターの小児科医を増員、西区の西神戸医療センターでも小児救急を再開した。その結果、両病院の垂水区民の小児科入院患者数は大幅に増加している。

今井議員：患者数の増加

は、垂水区に小児科がないために須磨区や西区に行かざるを得なくなった証拠だ。垂水区に産科・小児科をつくってほしいというのが保護者の声だ。また総合病院ができて移転・閉鎖してしまわぬよう約束し、病院ができるまで掖済会病院や佐野病院などに働きかけていただきたい。

## 子どもたちに最良の教育環境を

神戸市は、垂水中央東地区・廉売市場の再開発事業を進めようとしています。この計画は、当初220戸のマンションでしたが、容積率を拡大し270戸の超高層ビルを建てるというものです。

日本共産党神戸市会議員団は、開発される場所は、現在教室が不足する恐れがある『要注意校』に指定されてい

る垂水小学校区で、これ以上のマンション建設は規制すべきと指摘してきました。今井議員は、「垂水駅周辺では高層マンション建設計画が今後も相次いでいる。垂水小学校区という狭いエリアに高層ビルが建つことを容認すべきでない」と、さらに強く求めたのに対し、長田教育長は「駅前民間開発事業については、市

全体の街づくり方針のもと進められているもの。垂水小学校は、2025年度に教室不足が見込まれるため、教育環境とともに改善していく」と答弁し、高層マンション建設によ

って児童数が増加することを認めました。日本共産党神戸市会議員団は、これからも駅前マンション建設の規制を求め、垂水小学校の教育環境の改善に全力で取り組みます。

### 質疑項目

1. 垂水区のまちづくりと垂水駅前再開発のあり方について
2. ひきこもり、社会的孤立となっている人への支援について
3. 東須磨小学校の事案など教育委員会と学校現場の歪みについて

\* 質疑項目2、3については「日本共産党神戸市会議員団ホームページ」または「神戸市会ホームページ」本会議の「インターネット録画中継」でご覧いただけます。

10月4日

## 住宅リフォーム補助制度は地元の業者で建築住宅局審査で林議員



質問する林まさひと議員

長期間放置された空き家が全国的に問題になっています。神戸市では空き家対

六甲アイランドでは、船からのばい煙、43号線や島内の工業用地や車両からの排ガス、神鋼石炭火力発電所による大気汚染物質など、大気環境に不安の声があがっています。さらに、石炭火力発電所の増設や大阪湾岸道路の延伸、六甲アイランド南の開発が計画されており、さらなる環境悪化が予想されます。西ただ議員は「黒っぽいすすのようなものがつくので洗濯物を干せない」など住民の声を紹介、住民の立場に立って都市局としてこれ以上の環境悪化につながる開発は許されないという姿勢をしめすべきと

# 決算特別委員会審査から

- 1. 借上市営住宅問題について
- 2. 市営住宅マネジメント計画について
- 3. 空き家対策について
- 4. アスベストの撤去について

質疑項目

策の1つとして、子育て中の家族が中古住宅を取得するときに補助がでる「子育て支援リノベーション住宅取得補助制度」や市外から若い人が神戸の中古住宅に転入された場合に補助がでる制度があります。林議員は補助制度を使ってリフォームをする時の条件に地元の業者を使うよう求めました。

### 答弁ダイジェスト

林議員：住宅リフォーム制度に地元の

業者を使えば、市内にお金が循環し波及効果がある。経済効果として大きい。後押しをする意味でも地元の業者を使うように一言入れるべき。

前田建築住宅局副局長：現在の要綱では市内の業者に限るという要件はつけていないが、市内の物件を扱うので、結果としては市内の事業者を利用いただく場合がほとんどだ。改めて要件をつけることは考えていない。

10月8日

## これ以上の環境悪化につながる開発は許されない都市局審査で西議員



質問する西ただ議員

で一番空気のきれいな所に置かれているのは問題だ。他の地域にもつけて数値を監視するよう環境局にいうべき。

質疑項目

- 1. 都市空間向上計画について
- 2. 六甲アイランドの大気環境について

追及しました。

### 答弁ダイジェスト

西議員：新たな開発で環境が悪化するという認識はあるか。

山本都市局新都市事業部長：事業者のほうで対応するべきことは対応しているものと認識している。

西議員：六甲アイランドの大気観測所が元あった場所から移動していて、島内

10月2日

## 市民参画推進局審査で味口議員

\*各議員の答弁ダイジェストは「日本共産党神戸市議会議員団ホームページ」または「神戸市会ホームページ」委員会の「インターネット録画中継」でご覧いただけます。

10月3日

## 危機管理室審査で西議員 消防局審査で林議員

10月4日

## 交通局審査で今井議員 10月7日

## 建設局審査で森本議員 こども家庭局審査で朝倉議員

# 市民の「スマスイ」を大企業の儲けの道具にするな！

いま、市民のための「公共施設」であり、子どもたちの「教育施設」である須磨海浜水族園（スマスイ）が、民間大企業のリゾート開発事業として売り渡されようとしています。

須磨海浜公園一帯の管理運営が安倍政権によって導入されたP-PFI（パークピーエフアイ）という手法を用いて、最大30年間にわたり民営化されるという計画です。

今回、事業候補者として企業グルー

プから公表された提案には大きな問題が2点あり市民から反対の声が上がっています。

ひとつは新水族館の入園料です。民営化によって企業の儲けが優先され、今の料金から大幅にあがります。新料金は大人3100円、小中学生1800円、さらにのびのびパスポートでの無料入園ができなくなります。

もうひとつは集客目的で、現在のイルカに加えシャチも連れてきて、ショ

ーをさせようとしていることです。須磨水族園は現在でも120万人の入園者数で名実ともに国内屈指の水族園です。このままでは本来の文化・教養という目的から逸脱し、ショーなどが中心のエンターテインメント施設になることが問題です。

スマスイは開園から60年以上市民から愛されてきた水族園です。市民を置き去りにした大企業優遇の民間再整備計画は撤回すべきです。